

子どもの本と文化を、
子どもの未来のために—

大阪国際児童文学振興財団

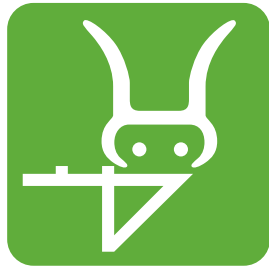
INTERNATIONAL INSTITUTE for CHILDREN'S LITERATURE, OSAKA

REPORT

No.03
2013.9

編集・発行／一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>



「新しい皮袋には 新しい酒を」

理事長 三宅興子

財団法人 大阪国際児童文学館が新生スタートしてから、三年間、みなさまの温かい激励とご支援をいただきまして、多くの事業を継続し実施することができましたことに、まず感謝申し上げます。二〇一二年度は、旧児童文学館から「大阪府立中央図書館 国際児童文学館」への移行期間三年が終了する年でありましたが、新しい枠組みのもとで、引き続き連携・協力しあつて、子どもの本・子どもの文化を通して社会に貢献してまいりたいと考えています。

昨秋、フォーラム「子どもの文学と文化を問い続けて—児童文学者中川正文の仕事を探る—」を実施し、その報告集を発行しています。中川先生の膨大な蔵書の寄贈を受け、その整理をし、フォーラムを企画する過程で、先生の多彩な活動の意味を考える機会が与えられました。また、二〇一三年二月一四日に、「鳥越コレクション」の寄贈者であり、当財団の特別顧問であられた鳥越信先生が八三歳で逝去されました。書庫に入る度に、鳥越先生が生涯をかけて集められた児童書からは未来への熱い思いを感じます。今後とも貴重な資料を活かすことで、お二人のご遺志を受け継いでいく所存です。方向性の異なる先人の偉業に思いを馳せた三年目になりました。

二〇一三年四月から、名称を変更して、「一般財団法人 大阪国際児童文学館」に移行いたしました。

当財団は名称を変更し、 一般財団法人に移行いたしました。

財団法人大阪国際児童文学館は、一般財団法人に移行するとともに名称を変更し、「一般財団法人 大阪国際児童文学館」になりました。新しい定款のもと、役員体制も新たにしておりますが、事業内容などは従前どおり進めてまいります。今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新法人名	一般財団法人 大阪国際児童文学館
旧法人名	財団法人 大阪国際児童文学館
変更日	平成 25 年 4 月 1 日
英文名	International Institute for Children's Literature, Osaka (略称 IICLO) については変更ありません。

学振興財団」となりました。新しい定款を定め、役員体制も新たにしておりますが、事業内容などは、ほぼ従前通りで変わりはありません。とはいえ、「新しい皮袋には新しい酒を盛るように」という諺のように、現代に見合った「児童文学振興」の方策も模索していくよい機会にもなっています。「新しい酒つくり」の報告ができる未来を信じて、今後ともご提案やご助言など、さまざまなお支援を賜りますようお願い申し上げます。



フォーラム 子どもの文学と文化を問い続けて— 児童文学者 中川正文の仕事を探る

平成23年10月13日に90歳で逝去された当財団特別顧問 中川正文先生の児童文学者としての仕事を顧みるフォーラムを開催しました。中川先生は、財団設立と同時に理事に就任され、平成2年4月から大阪府立国際児童文学館の館長あわせて平成10年6月からは第4代理事長として、平成17年6月まで兼任されました。

フォーラムでは、7名の講師の方々が、中川正文先生の作家、演劇人、児童文学・児童文化の研究者としての業績に加えて、当財団の理事長をはじめとする多方面にわたる社会的な貢献についてお話しくださいました。

日時：平成24年9月29日(土)
場所：大阪府立中央図書館 大会議室



左から向川さん、荒木さん、松居さん、田島さん、永田さん

今プログラム

●ご挨拶

三宅 興子 (当財団理事長)

●講演

田島 征彦さん (絵本作家)

梶山 俊夫さん

(絵本作家：ビデオ出演)

今江 祥智さん

(童話作家：メッセージ代読)

松居 直さん (当財団特別顧問、福音館書店相談役)

荒木 昭夫さん (京都児童青少年演劇協会代表世話人)

永田 桂子さん (児童文化研究者)

向川 幹雄さん (当財団特別顧問、兵庫教育大学名誉教授)

●フォーラム

司会：遠藤 純 (当財団特別専門員)

○フォーラムの報告集を販売しています (1470円)。

アメリカの絵本作家
デイヴィッド・
ウィーズナーさん来日

現代アメリカの代表的な絵本作家
デイヴィッド・ウィーズナーさん
をお招きして、講演会と子ども向け
ワークショップを開催しました。

〈国際講演会〉
「絵本作家デイヴィッド・
ウィーズナーの世界」
—絵は物語る—



子ども向けの頃
から絵を描く
ことが好き
だったウィー
ズナーさんが
絵本作家にな
るまでの軌跡
と、「かよう
びのよる」「漂
流物」などの
作品制作過程を、画像を使いなが
ら講演いただきました。

イギリスの児童文学作家
デイヴィッド・アーモンドさんの講演会

日時：平成24年11月3日(土)・祝
場 所：大阪府立中央図書館
大会議室
タイトル：Power of Imagination
想像から生まれる力—
国際アンデルセン賞作家
デイヴィッド・アーモンド
自身を語る。
通 訳：多田昌美さん
参加者：74人
主 催：社団法人 日本国際児童
図書評議会(JIBBY)



共 催：財団法人
大阪国際児童文学館
最初に、物語の力についての
講演を行った後、創作
方法や作
品のテーマ
などに関
する参加
者からの
質問に答
えていた
きました。

日時：平成25年3月24日(日)
場 所：大阪府立中央図書館
大会議室
通 訳：多田昌美さん
参加者：95人

〈子ども向けワークショップ〉
「絵本作家デイヴィッド・
ウィーズナーさんと
絵本をつくらう!」



子どもたちに「かようびのよる」
の制作過程を紹介した後、子ども
たちが「もし、小さな宇宙船が自
分の家に
やってきた
ら…」と
いうストー
リーを16コ
マの絵物語
で表現しま
した。
日時：平成25年3月25日(月)
場 所：万博記念公園内
自然観察学習館
参加者：小学生27人、大人36人

後 援：大阪府立中央図書館
大阪府子ども文庫連絡会
* 独立行政法人 日本万国博覧会記
念機構助成事業
* 本事業は、左記の各社からご支
援をいただきました。

近畿日本鉄道株式会社
サントリーホールディングス株式会社
パナソニック株式会社
株式会社富士通システムズ・イースト
ムサシ・アイ・テクノ株式会社
○講演会、ワークショップの報告集を
販売しています(1050円)。

1970年代のなつかしの子ども本の歴史
「万博のころ子どもだった」
EXPO'70パビリオン



大阪府立中央
図書館国際児童
文学館所蔵の資
料から1970
年代を中心にし
た子どもの本を
「子どもの本か
ら見た大阪万
博」アニメや特撮がいつばい「子
どもが夢中になったマンガ」「多
彩な児童書」「世界の国からこん
にちは」というカテゴリーで展示
し、関連イベントを開催しました。
日時：平成24年11月5日(木)
29日(木)
場 所：万博記念公園内
EXPO'70パビリオン

後 援：大阪府立中央図書館、
一般社団法人 関西環境
開発センター
* 独立行政法人 日本万国博覧会記
念機構助成事業

〈関連イベント〉
「人形劇&おはなし会」
世界の国からこんにちは

日時：平成24年11月18日(日)
おはなし会3回、人形劇1回
出 演：人形劇サークルぱれっと
おはなしポップ
参加者：子ども70人、大人87人

「なつかしの街頭紙芝居を
楽しもう」
日時：平成24年11月23日(金)・祝
2回公演
出 演：三呂会
参加者：子ども27人、大人42人

「のりものだいすき
おはなしだいすき」
貸切モノ
レールの中で
おはなしを楽
しみ、彩都西
の会場で人形
劇を観る「お
はなしモノ
レール」を実
施しました。
平成24年度で
6回目となります。



「ニッサン童話と
絵本のグランプリ」

アマチュア作家を対象にした創
作童話と絵本のコンクール「第29
回ニッサン童話と絵本のグランプリ」
を実施しました。審査の結果、
入賞作品38編を決定しました。
○応募数 童話の部2335点、
絵本の部476点 計2811点
○童話の部 優秀賞一席
「わけありリンゴのアップルパイ」
浅井優子さん
絵本の部 大賞
「ゆみちゃんねぞうがわるい子です」
宮崎明美さん

○表彰式 平成25年3月3日(日)
大阪府立中央図書館ライオン
協 賛：日産自動車株式会社

また、第28回童話の部大賞およ
び絵本の部大賞作品をB1出版か
ら平成24年12月に出版しました。
童話の部
『くいつたら道をはじめます』
絵本の部
『ぷちちとりた まよなかのサーカス』



たきしたえいこ/作
大西ひろみ/絵



ながおたくま/作・絵

子どもに本を 手渡す人のために

●講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子ども本の本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、主任専門員、特別専門員を派遣しました。

●実施回数：56回

●審査員・委員など

左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

- 岸和田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員（7回）
- 第22回賞面手づくり紙芝居コンクール審査員（箕面市教育委員会・人と本を紡ぐ会）
- 平成24年度「心の輪を広げる体験作文」審査（大阪府福祉部）
- 第15回はーと&はーと絵本原作コンクール選考委員会（大阪府教育委員会）
- 第31回人権啓発詩・読書感想文審査委員会（大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会）
- メディア芸術デジタルアーカイブ事業検討委員会（文化庁）
- 国際フォーラム「図書館のYAサービスの可能性」ハンブルク青少年図書館と日本の事例から」コーディネーター（ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川）

子どもたちに おはなしの楽しさを

●昔の絵本・紙芝居に触れるイベント

「むかしの紙芝居・子どもの絵本を楽しもう」

大正期の絵本や1950年代に楽しまれた街頭紙芝居を観た後、絵本を読んだり、紙芝居を演じる活動を行いました。



日時：平成24年8月11日（土）
場所：大阪府立中央図書館
大会議室

出演：三国会ほか

*後援：大阪府立中央図書館・三国会

*子どもゆめ基金助成活動

●大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館
子ども資料室
では、な
し会5回、人
形劇1回、物
語体験ワー
クショップ
1回を開催
しました。



出演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと



●中学生との絵本作りワークショップ
「自分だけの絵本を作ってプレゼンしよう」

日時：平成24年8月1日（水）、3日（金）
場所：大阪学院大学

●森の絵本づくり

「森」をテーマにしたおはなし会を楽しみ、森を探検し、森の中でいろいろなものを拾って、子どもも大人も「森の絵本」を創りました。「森とともだちになろう！〜森の絵本づくり〜」

日時：平成24年10月6日（土）
場所：大阪府立少年自然の家
ワークショップ

●小学校や図書館でのおはなし会やワークショップ

●吹田市立山田駅前図書館でのおはなし会（2回）
出演：職員、おはなしポップ
●豊中市立東丘小学校等での小学生を対象とした、物語体験ワークショップ（2回）
●中学生への絵本の選び方・読み方講座（1回）

●小川未明文学館（新潟県）でのものがたり体験ワークショップ「山の上の木と雲の話」（1回）

●児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設9カ所でおはなし会と人形劇を開催し、

関連した絵本を配布しました。おはなし会6回、人形劇3回

出演：おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと、人形劇団フラルテ

*財団法人高津成和会助成事業

●日中韓子ども童話交流2012に参加し、日本、中国、韓国の子どもたちと一緒に絵本作りをしました。

日時：平成24年8月16日〜23日
場所：韓国・慶州およびソウル
参加者：1000名
主催：日中韓子ども童話交流事業実行委員会

●「おはなしポップ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画

子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。

また、「おはなしポップ」は、絵本やおはなしに関する研修を3回行いました。

ほんナビぎっず 子どもの本をあらすじ・キーワードから探す

「ほんナビぎっず」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによりお気に入りのお本に出会うシステムです。長新太さんの人気キャラクター、キャベツくんやブタヤマさんが登場するゲームで遊ぶだけでなく、キーワードを選んだり、入力したりして本を探ることができます。キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。24年度は817冊の本を追加しました。財団HPか

らアクセスできます。

共同開発：株式会社富士通システムズ・イースト

内容
もりだくさん！
メルマガ発行、
ぜひ会員登録を

毎月メールマガジンを発行しています。発行は、月1回/毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

平成25年6月末現在、登録数は1151人です。内容例は左記のとおり。

1 お知らせ

財団からのお知らせコーナー

2 コラム

Yasuko's & Okiko's Talk

理事長と専門職員が毎月1冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

2) 読書活動ボランティアのためのワンポイント

読書活動を行っているボランティアさんのための連続講座。絵本の選び方、読み方など、基本的なポイントを説明しています。

3) サイト紹介

子どもの本をリサーチする
知らなきや損をする子どもの本の調査のためのさまざまなサイト紹介
行ってきました！
展示会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

3) 全国のイベント紹介

他団体等が実施するイベントを紹介

4) プレゼント

今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

子ども読書活動の推進のために

●大阪府子ども読書活動推進連絡協議会への参画

大阪府が推進する「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進のための協議会に参画し、会議に出席しました。(2回)

共同研究を行いました

●明治期児童雑誌研究プロジェクト

『少年世界』などの明治時代に出版された児童向け雑誌について、平成20年度文部科学省科学研究費助成事業で作成した、明治時代の雑誌の内容詳細データを活用しながら外部研究者とともに研究を行いました。

●研究会の開催(4回)

●『国際児童文学館紀要26号』掲載(論文2本)

- 研究メンバー：酒井晶代(愛知淑徳大学教授)、畠山兆子(梅花女子大学教授)、藤本芳則(大谷大学短期大学教授)、向川幹雄(当財団特別顧問・兵庫教育大学教授)、目黒強(神戸大学准教授)、遠藤純(当財団特別専門員)、小松聡子(当財団特別専門員)、土居安子(当財団主任専門員)

●明治・大正期における児童出版文化史の研究

故・南部新一氏(元博文館編集者)旧蔵資料にある巖谷小波作品を中心に、調査研究を外部研究者

とともに行いました。

●研究会の開催(6回)

- 研究課題：明治・大正・昭和前期における児童出版文化史の研究
- 元博文館編集者の書簡調査から
- ラウンドテーブル「南部新一書簡から見てくるもの」

(日本児童文学学会第51回研究会大会、千葉大学、平成24年10月28日)

●『国際児童文学館紀要26号』掲載(研究ノート3本)

- 研究メンバー：浅岡靖央(日本児童教育専門学校専任講師)、伊藤元雄(ブックグループ社代表)、酒井晶代(愛知淑徳大学教授)、三宅興子(当財団理事長)、遠藤純(当財団特別専門員)、小松聡子(当財団特別専門員)、土居安子(当財団主任専門員)

*独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C)平成23～25年度

論文集『国際児童文学館紀要』26号の発行

今号も、国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。6名の応募があり、論文1本を採用しました。

【目次】

- 子ども向き読み物における「一休」ー1945年～1975年を中心にー 福井 直秀
- メディア有言論からみた「少女世界」における女生像ー「少女小説」と「演劇」を中心としてー 目黒 強

明治期『少年世界』の読者投書欄

から見た『少年世界』の読書様態

土居 安子

〔研究ノート〕

新井弘城(南部新一)宛 巖谷小波書簡について 遠藤 純

武田鶯塘の書簡から見えてくるもの 小松 聡子

南部新一宛・木村小舟書簡について 酒井 晶代

○本事業は、児童文学を愛された北村武子さんのご遺志により当財団にいただいた多大な寄付金を基にした「北村武子記念児童文学振興基金」の対象事業です。

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関わる各種出版事業の相談に応じています。

●『進研ゼミおすすめ本1000冊』

ベネッセコーポレーションから受託し、小学1年生～中学3年生を対象に、推奨本の追加・変更107冊を選定し、子ども向け紹介文を作成しました。

資料を販売しています

●財団発行資料

- フォーラム報告集「子どもの文学と文化を問い続けてー児童文学者 中川正文の仕事を顧みる」 1470円

- 「2012年度国際講演会 絵本作家ダイヴィッド・ウィーズナー

の世界 絵は物語る／子ども向け絵本づくりワークショップ」 10500円

●「2011年度国際交流事業報告集 オーストラリアの絵本の魅力」 ショー・タン自作を語る／子ども向け絵本づくりワークショップ」 10500円

●「2010年度国際交流事業報告集 アジアの絵本 シンポジウム」 絵本は国境を越えるー中国語圏の絵本の現在ー」 5255円

●『国際児童文学館紀要』1号～26号 10500円～19955円

●『台湾の絵本』論文集・シンポジウム報告書 19955円

●世界の絵本の現在・報告集「タイの絵本」 19955円

●『インドの絵本』論文集 14700円

●『中国の絵本』論文集 19955円

など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。

資料のご寄贈を

ありがとうございます

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。特に今年度は、故中川正文先生所蔵の膨大な資料をいただきましたため、昨年度の約2倍を超える点数となりました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。

(ご寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

図 書 10,106冊

雑誌 8,854冊

その他資料 2,656点

計 21,616点

*うち中川資料 12,892点

寄付金募集のお願い!

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからの寄付を募っています。ご協力を願います。

◆ゆうちょ銀行振替口座に払い込みください。

□口座番号 00910・8・2820908

加入者名

一般財団法人大阪国際児童文学振興財団

※他の金融機関からの振込の場合

店名：〇九九店(ゼロキウキウ) 店名：〇九九店(ゼロキウキウ)

店番：099/預金種目：当座/口座番号：02820908

◆平成24年度は、156件

2,251,840円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。(ご寄付いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

編集後記

今年4月から財団名称を改め、気持ちも新たに編集しました「レポート第3号」をお届けいたします。当レポートでは、平成24年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さまの支援・ご協力が深く感謝いたします。引き続き皆さま方のご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。